

協力員・利用者の声



<見守り協力員さんの声>

Q 見守り活動を始めたきっかけは？

- 見守り活動に共感したからです。
- 退職して社会に恩返ししたい気持ちがあったので。
- 「ボランティアに限らず、空いた時間に何かできること」を探していたのがきっかけです。

Q 活動を続けるコツは？

- 気負わないこと。
- 買い物のついでという感じで、生活の一部になっているからだと思います。
- 短い時間での関わりだからこそできています。
- 協力員連絡会で、ほかの協力員の活動の様子を知ること、困ったら社協職員に相談することです。
- お互い様の気持ちをもつことを大切にしています。
- 相手の立場に立って試行錯誤することがコツだと思っています。
- 活動するとボランティアポイントをもらえるのも楽しいです。

Q 続けたことで感じていることは？

- 月に2回の訪問ですが、徐々に関係性が深まった利用者さんが私の訪問を待っていると、少しは役に立っていると嬉しくなります。
- 自分が元気である限り続けたいです。
- 年齢を経た自分自身の励みにもなっています。
- 人生の先輩である利用者さんから、たくさんのことを教えてもらっています。
- 様々な利用者さんと出会ったことで、ご近所に顔見知りができるよかったです。
- 日ごろからご近所同士、ゆるやかに見守る重要性を実感しています。
- 昔のような近所づきあいは難しいかもしれませんが、見守り活動としての利用者さんとのつながりは大切にしたいです。
- 見守り活動をきっかけに別のボランティアも始め、地域活動の幅が広がってよかったです。
- 見守り活動は、ボランティア初心者の方にもできる活動だと思います。



- 協力員さんには、いつもよくしてもらっています。欠かさず訪問してくれ、ちょっとした相談にのってくれます。まるで娘のように感じています。
- 定期的に安否の確認に来てくれるので、一人暮らしの自分にとってはありがたい存在です。
- 協力員さんとは世代が一緒で、何でも話せます。きっかけは見守りでしたが、偶然近所で会うこともあり、いまでは友人のように思っています。

<利用者さんの声>